

スイちゃん

稲宮 健一

朝食の後、朝ドラの前に幼児番組「みいつけた」がEテレで放送されている。その主役がスイちゃんだ。実に可愛い。番組は簡単なクイズで気を引き付け、歌とダンスが組み合わせ合わせた十五分間。

各シーンはスイちゃんと縫いぐるみが、おもちゃ箱から出してきた色々な形や大きさのカラフルな板や積み木でお遊びを演じ、幼児を振り向かせる。そして、画面の盛り上がりはスイちゃんがお兄さんやお姉さんと一緒にリズムに乗って、シーン一杯に踊り歌い躍動する。ダンスは五、六人のメンバの一組のなか、スイちゃんだけが一段とチビだが、歌のリズムはメンバの動きとぴったりと一致して見事に体を動かし、腕を振り、足を上げたり下げたり、あたかもスイちゃんがリードしているよう。歌番組のプロのバックダンサーの一群みたいだ。

動きだけでなく、お下げ髪のまるい童顔がなんとも可愛い。まるで目鼻立ちが整ったお人形のような。誰でも赤ん坊のころは可愛い顔で、しぐさも愛らしい。人に限らず、生まれては皆可愛い。それはどうも、生まれたては無防備で親や周囲の助けがないと生きていけない。それもあってか、天の恵みで可愛らしく生まれてくるようだ。童顔は丸顔だ。一粒の種から羊水の中で大きくなっていく経過を思うと、風船が段々と膨らむように丸顔が基本なのだろう。

漫画の主人公も基本は丸顔だ。アンパンマンは頭が丸いだけでなく、目、ほっぺ、体、皆な丸い。ドラえもんも丸い頭で、口も半丸、目も丸く、体も丸い。丸は安心感を生むのか。

現在のスイちゃんは四代目で七歳とのこと。これから成長すると、自らのDNAに従ってどんな大人の顔に成長して行くのかな。「おしん」の小林綾子は幼児の頃のしっかりした顔立ちを今でも思わせる美形の大人の顔になっている。「濁つくし」の澤口靖子は漁師に一本釣りされた成人の初恋の物語でデビューしたので、今もあの頃の面影を残した美人で活躍している。はたしてスイちゃんは。